

令和6年3月12日

議会議長 田 口 彰 一 様

総務建設委員会
委員長 野 田 哲 郎

閉会中における所管事務調査についての報告

函南町議会会議規則第77条の規定により、次のとおり報告いたします。

記

- 1 開催日時 令和6年2月2日（金）午前9時00分
- 2 委員の出席状況 委員全員出席 議長出席
- 3 調査事項

(1) 函南町立地適正化計画の改定について

平成31年3月に立地適正化計画の策定が行われ、行政、住民及び民間事業者が一体となったまちづくりに取り組んでいる。現在、法改正により既存計画に防災指針を盛り込むための改定作業を行っており、計画策定から5年が経過したことから中間評価及び、目標値等の見直しも合わせて行われている。

頻発化・激甚化する自然災害に備えるため、立地適正化計画に防災指針が位置づけられ、安全なまちづくりのための関連施策等が示されている。防災指針の追加により、災害ハザードエリアにおける開発抑制、移転の促進、防災対策による被害の低減・回避が検討され、居住誘導区域及び都市機能誘導区域が見直されている。

都市計画マスタープラン及び他の関連計画との整合を図り、引き続き計画を推進するとともに、防災指針により検討された自然災害を回避・低減させる施策を促進し、コンパクトで利便性の高い、安心して暮らせるまちづくりへと繋がるよう努められたい。

(2) 田代、軽井沢、丹那地区簡易水道事業について

田代、軽井沢、丹那地区簡易水道は、5つの地域の広範囲にわたり水の供給を行っている水道事業である。給水人口は年々減少し、使用料収入も減少する中、経営努力により運営をしてきたが、管路、施設の老朽化に加え、近年の電気料金や資材の高騰の影響を受け、厳しい経営状況に置かれている。

現行の水道料金では、令和7年度に経営の赤字が見込まれるため、水道事業審議会において、水道事業運営の検証及び水道料金について審議が行われている。審議された内容については、各地区に出向き説明を行い、利用者への周知に努めている。

利用者の実態等を考慮し、安定した事業経営に繋がるような事業運営が望まれる。

(3) 酪農王国オラッチェの現状について（現地視察含む）

酪農王国オラッチェの現状や、今後の展望等についての説明を受けた。

地域資源を活かした6次産業化による商品の創出、動物や農作物に接する体験メニューの提供など、丹那地域の資源に触れ、魅力を感じることでできる取り組みが行われており、年間20万人を超える来場者で賑わう施設となっている。また、町内事業者や学校との産学連携や、函南町堆肥生産プラントを活用した循環型社会の構想など、今後の取り組みについても様々な検討がされている。

丹那地域には、コロナ禍を経て変化した旅行や観光に対するニーズに応えることのできる土壌があり、ブラッシュアップをしていくことで地域が持つ魅力をより一層活用・発信できると考えられている。酪農王国オラッチェの取り組みが、丹那地域のみならず、函南町全体の更なる活性化に繋がることが期待される。